



PORSCHE



50 Years of the Porsche 911 – Tradition: Future

プレス・インフォメーション

ポルシェ クラシック

目次

ポルシェ クラシック：空冷 911 のすべてに通じたスペシャリスト ポルシェのクラシックモデルの「不老の泉」	1
交換部品とリプロダクションパーツとの違いに対処するポルシェ クラシック 往年のポルシェのクラシックモデルに用いる新しい純正部 品	3
1954～73 年の初代ポルシェ クレストを再生 品質の高さを証明する初代ポルシェ クレスト	5
ポルシェ クラシック 概要	6

ポルシェ クラシック：空冷 911 のすべてに通じたスペシャリスト

ポルシェのクラシックモデルの「不老の泉」

ポルシェ クレストをフロントフードにあしらったスポーツカーのうち、その約 3 分の 2 は現在も走り続けています。あらためて述べるまでもなく、これは 911 のクラシックモデルでも同様です。1964 ～ 89 年のモデルだけを見ても、約 15 万台が現在も世界各地を走り続けています。ポルシェ クラシックは空冷エンジンを搭載したポルシェ 911 向けに、交換部品の調達から車両全体のレストアにいたるまで、メーカーベースの技術的サポートを提供しています。このサービスはポルシェ車一台一台の持つユニークさを保ち、それぞれが真のポルシェであり続けることを第一に目指しています。

ポルシェ クラシックが伝統のブランドバリューを担う理由はここにあります。またこれまで手に入れることができなかった高品質の純正部品を在庫として保管することにまで、サービスの範囲を絶えず広げてきた理由もここにあります。現在では 35,000 種類以上の部品を在庫の中からオーダーすることが可能です。提供する部品の最も重要な基準は、純正部品であることとその品質です。このためこれらの純正部品は当時のサプライヤーや、新たな専門のサプライヤーから調達します。新しく部品を製造する際には、設計当初の図面や詳しい書面を含めたポルシェに保管されている資料類と保管されているサンプルを利用します。その際でも技術と安全性に対するポルシェの厳しい基準が守られます。ポルシェ クラシックによる純正部品は世界各国からオーダーすることができ、世界 700 ヶ所のポルシェ センターに配送されます。

ポルシェ AG では情報の共有を目的としてポルシェ純正部品のカタログを製作しています。このカタログはすべてのモデルが網羅されており、テスト機器やパンフレット類も含まれています。このポルシェ純正部品のカタログは年に 2 度、CD-ROM として製作されます。この中には、部品を閲覧するための PDF ファイルや検索ツール、技術面に関連するアーカイブも含まれています。ポルシェ クラシックはこの他に技術面に関するパンフレットも製作しています。操作や修理、サービスに関する約 800 点のマニュアルが用意されています。

当然のことながらポルシェ クラシックは世界規模で部品を供給したり、技術的なパンフレットを用意したりするばかりではありません。クラシックモデルの修理やメンテナンス、レストアも行っています。正規のトレーニングを受けたスペシャリストたちが、お客さまが保有するポルシェのクラシックモデルの正常な機能を維持します。比較的新しいタイプ 964 や 993 のサービスも承ります。

簡単なオイル交換や事故後のボディ修理、全体のレストアにかかわらず、サービスのすべては、フライブルク・アム・ネッカーに設けられたポルシェ クラシックのサービスショップがその中心となります。ここではポルシェ クラシックのサービスアドバイザーがお客様の車を直接お預かりします。ポルシェ クラシックのサービスショップでは、約 30 人のスペシャリストが経験と情熱をもとに、自動車業界の宝といえる車両のサービスに取り組み、同時に最大 30 の大型プロジェクトに対応することが可能です。

床面積 1,500 m²の施設内にはポルシェ クラシックのサービスのために、ボディ工場や塗装工場、エンジンおよびトランスミッション工場の他、独自のレザー工場も設けられています。レストアの際には、ペイントタブで陰極コーティングが施され、これによって考えられる限り最高の耐食性を保つことができます。この他にもポルシェ クラシックのサービスでは生産当時のアライメント機器やフレームゲージ、データシートが使われます。サービスを依頼されたお客様は、作業中にサービスショップへ特別に招かれ、進捗を確かめたり、プロジェクトのその後について決めたりすることができます。

修理、メンテナンス、レストアを終えた車両は、機能が一新されたかのように見えますが、本来のキャラクターをそのまま保っています。作業が終了するとお客様には、各種の画像とともに作業の詳細を記した書面と、ポルシェ クラシックによって修理を受けたことを示し、車両のシャシー番号、担当者の署名が刻まれたプレートが手渡されます。

交換部品とリプロダクションパーツとの違いに対処するポルシェ クラシック

往年のポルシェのクラシックモデルに用いる新しい純正部品

ポルシェ AG のクラシックモデルスペシャリストは、現在約 35,000 点にわたるクラシックモデル用在庫部品の更新に努めています。そして、入手の困難な純正部品をリプロダクションパーツで代用する必要性にも直面します。これまでに生産されたポルシェ車の 3 分の 2 が現在も世界中で走り続けています。このため部品の供給はポルシェ クラシックの中心的な役割です。しかし場合によっては、リプロダクションパーツの製造が彼らに大きな課題を投げかけることもあります。

第一に必要なことは市場での需要の評価と、アーカイブに保管された資料類の検証です。生産当初の部品の状態や、調達の可能性を確かめることも必要です。新しい純正部品が調達できるかどうかは、多くの場合、ポルシェが築いてきたサプライヤーとの深い関係によって決まります。わずかな量の部品のために多くの努力が注がれます。現存しないサプライヤーによる部品の場合には、新たな調達先を探す必要があります。場合によってはまったく新しい工作機械を調達する場合もあります。当然のことながらその際に優先されるのは、品質と安全性に対するポルシェの厳しい基準を満たすことです。つまり高額のコストを必要とする技術的な試験を、広範囲にわたって行うことが求められます。新車の場合、安全性能に関連する部品には、ヴァイザッハのポルシェ研究開発センターで数多くの試験が課せられます。特定素材の使用禁止事項など、新たな法律や規制に定められた条件も考慮する必要があります。

ポルシェ クラシックでは現在、さまざまなリプロダクションパーツを在庫として保有しています。中でも最も注目すべき部品が 1970 ～ 73 年の 911 の 85 リッターのプラスチック製フューエルタンクと 1965 ～ 73 年の 911 に使用するフューエルタンク付きの左フロントフェンダーです。生産当時のサプライヤーが経営破たんし、別の新たなサプライヤーが製造を引き継ぐことになったため、このリプロダクションパーツの製造では特に苦心を要しました。

ポルシェと長期にわたるパートナーシップを結ぶこのサプライヤーは、シートメタルの成形を専門とする企業で、今後もこの複雑な構造の部品を供給することになっています。部品の製造元を変更したことによって、工作機械も新しくなり、製造工程が最適化されたため、生産当時の部品の品質は大幅に向上しました。いくつかの数値が、911 および 964 に用いる 99 種類のフェンダーとサイドパネルを再度製造するために、莫大な労力を必要としたことを示しています。911 のフェンダーアセンブリーは最大で 44 の部品で構成され、これらの製造には 110 の工具と 11 の設備が必要でした。新しい製造元に変更する際には、1,400 t におよぶ資材をトラック 80 台で輸送する必要がありました。そして製造元を変更するプロジェクトには 6 ヶ月の期間を要しました。

小さくても重要性の高い、もうひとつの純正部品も再び手に入るようになりました。それは 1965～73 年にかけて生産された初期の 911 のトランクリッドに使われていたポルシェ クレストです。裏面右下ではオーダーナンバーは 901 とされています。

1954～73 年の初代ポルシェ クレストを再生

品質の高さを証明する初代ポルシェ クレスト

ポルシェ 356 と初期の 911 に欠かすことのできない魅力的なディテールのひとつがかつての上品さでよみがえりました。ポルシェ クラシックでは徹底的な調査を経て、当時の色と素材、そして「メイド・イン・ジャーマニー」を忠実に守った初代ポルシェ クレストを見事に再生しました。これは 1954 年から生産終了時の 1965 年までの 356 のフロントフードハンドルの他、1964 ～ 73 年に生産された 911 (F モデル) のフロントフードに使うことができます。

当時のポルシェ クレストは現在と異なり、エンボス加工が施されただけのものでブラックも使われていませんでした。またレッドも、ヴュルテンベルク・ホーエンツォレルン州の州章に使われていた、オレンジに近い色調のものでした。しかしこの初代ポルシェクレストの再生にあたり、ポルシェクラシックの専門担当者が関心を寄せたのは色の完全な再生だけではありませんでした。このポルシェ クレストは特別な手法を用い、当時の図面に従って製造されました。当時と同じようにシルバーとゴールドで彩色されました。彩色とエナメル加工はハンドクラフトによって行われ、また再生されたかつてのポルシェ クレストは現在のものと同じ品質試験に合格しなければいけませんでした。例えば飛び石による衝撃に対する試験はヴァイザッハのポルシェ研究開発センターにある弾道学システムを用いてシミュレーションされ、また塩水噴霧室では 240 時間にわたる試験が行われました。再生されたポルシェ クレストはこれらの厳しい試験に耐え、見事に合格しました。真の品質を備えた 100 % メイド・イン・ジャーマニーの製品です。このポルシェ クレストが伝統あるシンボルとして、ポルシェのクラシックモデルを飾ります。

ポルシェ クラシック

概要

ポルシェ クラシックのサポート対象となる 911 モデル：

911

生産期間： 1963～73 年
 生産台数： 81,100 台
 入手可能な部品数： 3,330 点

911

生産期間： 1974～89 年
 生産台数： 196,397 台
 入手可能な部品数： 7,090 点

959

生産期間： 1987～88 年
 生産台数： 292 台
 入手可能な部品数： 2,340 点

964

生産期間： 1988～94 年
 生産台数： 63,762 台
 入手可能な部品数： 5,720 点

993

生産期間： 1993～98 年
 生産台数： 68,881 台
 入手可能な部品数： 6,420 点

クラシックショップで年間に対応可能な車両台数：
オイル交換からレストアまで約 300 台

911 レストアプロジェクトの例：

ポルシェ 911 カレラ RS 2.7 (1973 年)、ポルシェ 911 カレラ RSR 3.0 (1974 年)、
ポルシェ クラブ・アメリカ向けの「Revive the Passion」(情熱の再現) プロジェクト
ト — 911 T クーペ・アメリカ仕様車 (1973 年)

レストアの平均所用期間：

レストアの範囲と車両の状態により 1～2 年

在庫されている純正部品数：

35,000 点以上

2012 年に新たに加わった部品数：

約 150 点

利用可能な技術的資料類：

約 800 点 (サービスマニュアル、修理指示書、操作マニュアルなど)

ポルシェ クラシックではメンテナンスやレストアのサービス、純正部品、ポルシェのクラシックモデルに関する技術的資料類を提供しています。プロジェクトの内容を問わず、過去最高の一台に、将来最高となるものを一体化します。

興味を持たれた方はポルシェ クラシックのウェブサイト (www.porsche.com/classic) をご覧ください。新たに在庫として加わった部品のデータベースが常時更新されている他、ポルシェ クラシックの純正部品カタログの閲覧や、専門担当者へのお問い合わせもできます。またこのウェブサイトではポルシェ クラシックの世界をイメージした画像や映像をダウンロードできる他、ポルシェ クラシックによる催し物についてもご紹介しています。

お問い合わせ先は次の通りです。皆さまからのお問い合わせをお待ちしています：

車両情報/各種証明：

TEL：+49 (0)1805 356-911（ドイツへの固定電話通話料は 1 分あたり 14 セント、
携帯電話通話料は最大 42 セント）

クラシックモデルのレストア：

TEL：+49 (0)711 911-27150
E メール：classic-service@porsche.de

クラシックモデル純正部品/修理：

最寄りのポルシェ センターでご相談ください